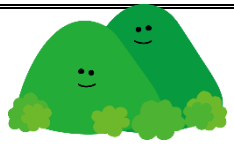
学校教育目標 『気づき 考え 行動する』 ～自分たちの学級・学校は、自分たちでつくる～

小島小学校だより
第 14号

金峰山



令和6年7月17日
文責　小山 恵子

熊本市立小島小学校
www.kumamoto-kmm.ed.jp

夏休みはたくさんの「体験」を

夏休み目前となりました。子どもたちの心はウキウキ、ワクワクしていることでしょう。残り２日、落ち着いた学校生活を送り、事故や怪我なく無事に夏休みを迎えられることを願っています。

さて、夏休み中は学校ではできない「体験」をたくさんしてほしいと思います。バーチャルでは味わえないリアルな体験、五感が揺さぶられる体験を。

私の小学生の頃（半世紀も前ですね）といえば、インターネットなどありませんでしたし、テレビに録画機能もありませんでしたから、唯一の楽しみといえば友達と遊ぶことでした。友達と裏山に行って蝉取りをしたり小学校のプールに行ったり。お盆以外はプールが開放されていたので、毎日のようにプールに行き肌は日焼けで真っ黒。プールに行くと同級生に会えるので、それも楽しみの一つでした。

蝉はアブラゼミ、ニイニイゼミ、クマゼミ、ツクツクボウシの４種類がいましたが、近年、ニイニイゼミを見かけなくなりましたよね。温暖化の影響でしょうか。

ツクツクボウシは私にとって「夏の終わり」の象徴。お盆を過ぎると「ツクツクボ～シ、ツクツクボ～シ」と鳴き始め、「あ～、夏休みがもうすぐ終わる～」と寂しく悲しい気持ちになっていました。今は８月上旬には鳴き始めているような・・・。

社会人になって初めて出張で東京へ行ったとき、耳に入ってくる蝉の鳴き声が「ミ～ンミ～ン」だったことに驚きました。逆に、クマゼミやアブラゼミの鳴き声をあまり聞かなかったような気がします。地域によって生息している蝉の種類が違うのだなと改めて思ったものでした。個人的に私はヒグラシの鳴き声が好きです。

とりとめのない話をしてしまいましたが夏休みは様々な「体験」をし、親子で楽しい思い出をたくさん作ってください。８月２９日（木）、一回り成長した子どもたちに会えることを楽しみにしています。

十二日（金）に人権集会を行い、学んだことを発表しました。実行できることを期待しています。